

平成 28 年（平成 27 年度事業）
守谷市議会重点事業仕分け

守谷市議会

事業評価結果表

No.	事業名	評価結果及び理由
1	青少年相談員事業	評価：問題がある
		相談員の高齢化もあり事業そのものが曲がり角に来ている。事業の名前から期待される目的である「相談」活動は少なく、パトロールと有害凶書に対する店舗へのお願いが活動の中心になっている。青少年の健全育成という観点から考えると、守谷市では他の団体(防犯、ボランティア)でも行っている部分があるので連携・協働を模索することも考えられる。
		提案及び理由
		事業対応：休止・廃止する
		予算措置：予算措置しない
		県との事業の関わりからこの事業がスタートした経緯があるが、守谷市では色々な団体が、パトロールをはじめ挨拶運動など、活発に青少年健全化の対策を行っている。事業名をはじめ活動内容が現状に則していないことから、この事業を廃止すべきである。そして本来の事業目的を尊重するならば、手法を変えて(各種団体等)新たにスタートすべきである。
2	外国語指導助手事業	評価結果及び理由
		評価：良好である
		守谷市では文部科学省の指導要領をリードし、小学校1年生から英語教育を推進し、その一つの手法としてALT事業を取り入れている。当初は、ALTの質という観点から事業仕分けの対象事業としたわけだが、授業の様子を見て、ALTの非常に熱心な取り組みと、児童生徒の生き生きとした授業の様子に感心したところである。しかし、費用に見合った効果という点において効果的であるという大半の意見に対し、どちらかといえば効果的でないという意見もあった。その理由は、外国語指導助手に対し、将来的にわたりレベルアップをすべきであるということである。
		提案及び理由
		事業対応：改善し継続する
		予算措置：継続する
		行政における事業評価でも、費用対効果及び目標達成について、曖昧な表現になっている。明確な指標が無いために、因果関係不明な「英検3級合格者数」が独り歩き

		<p>している感がある。</p> <p>市（教育委員会）の目標が当初と変わっていないことから、今後は将来を見据えた目標を設定し、例えば学年ごとの達成目標を立てることや、成果目標を立て（例（英語で）：挨拶ができる。道案内ができる。自分の意見が言える。等）より充実させていく必要がある。</p>
3	緑地管理事業	評価結果及び理由
		評価：問題がある
		現状は、畜産団地へ入る道路確保のための緑地管理である。事業は、市民の憩いの場を目的として（仮称）桜公園を整備するとされている。しかし、事業開始から8年経っても公園としての整備は進んでおらず、先行きの計画も不透明であり、事業目的と実態が乖離しているという理由から問題がある。
		提案及び理由
		事業対応：休止・廃止する
		予算措置：予算措置しない
		<p>現状から見ると、当事業の目的である（仮称）桜公園としての整備計画は全く進んでおらず、また、市民の憩いの場としての必要性はないため、当事業を廃止すべきである。</p> <p>しかし、この緑地の一部は、畜産団地の方の生活道路となっていることから、今後は廃止と同時に新たな事業として維持管理（草刈り）を行う必要がある。</p>
4	私立幼稚園施策推進費補助事業	評価結果及び理由
		評価：問題がある
		平成14年度から私立幼稚園連合会の要望で実施されている事業だが、平成22年度からは食育に限定した補助事業になっている。幼児期の食育は大切であるが、毎年全幼稚園が補助金の申請をしている状況ではなく、昨年度においては、6園中3園となっている。また、守谷市補助金審議会からの指摘事項として事業目的が通常の幼稚園の活動と重複し、特に補助の必要性のないことや、要綱見直し指摘されている。
		提案及び理由
		事業対応：休止・廃止する
		予算措置：予算措置しない
		<p>要綱によって補助金が出されるべきところを、現状では無視して補助金が出てしまっている問題があるため、守谷市私立幼稚園施策推進費補助金交付要綱の内容につ</p>

		<p>いて、事業名と補助金の対象経費の内容を訂正すべき。補助金を申請していなくても、食育を実施している園もあり、事業自体の必要性も低いと考える。食育は、守谷市食育推進計画を策定している保健センターの管轄において行うのが望ましい。</p>
--	--	--